

第1日 6月6日(土)

午前の部(9:40-12:05) (研究発表30分 質疑応答15分)

研究発表

- ① 上野 由貴(首都大学東京大学院) (9:40-10:25)
蜜蜂とアリスタエウス
——ウェルギリウス『ゲオルギカ』における農業の担い手たち——
- ② 福田宗太郎(京都大学非常勤講師) (10:30-11:15)
プラトンの探究方法
——『メノン』86C-89Cにおけるヒュポテシスの方法を中心に
- ③ 酒井健太郎(九州大学大学院) (11:20-12:05)
アリストテレス『分析論後書』A巻第2章72a19-24における
基礎措定と定義について

ポスターセッション(昼休みに6-106で行います)

伊藤嘉純(名古屋大学大学院)「植民市コリントス社会とエリートの活動」

木戸口聡子(東京大学大学院)「小ファウスティーナの醜聞について」

勝又泰洋(京都大学非常勤講師)「ピロストラトス『テュアナのアポッローニオス』における語りの特徴」

午後の部

シンポジウム「プルータルコスと指導者像」 (13:40-16:40)

※懇親会(17:30-20:00)

於 国際交流会館 ルヴェソンヴェール

(会費 5000円 学部・大学院生 3000円)

(付記 委員会は6月5日午後5時より、本部棟大会議室にて行います)

第2日 6月7日(日)

午前の部(9:40-11:50)

研究発表

- ④ 岸本廣大(三重大学非常勤講師) (9:40-10:25)
後2世紀リュキアにおけるコイノンの公職制度とローマ

※総会(10:30-11:00)

- ⑤ 山口京一郎(国際基督教大学大学院) (11:05-11:50)
地震の地裂による死の恐怖への応答と死そのものの受け入れ
——セネカ『自然研究』6巻の表現手法——

※書評委員会 哲:6-211 史:6-212 文:6-213

午後の部(13:40-16:55)

- ⑥ 小坂俊介(東北大学助教) (13:40-14:25)
紀元後4世紀半ばのアレクサンドリアにおける騒乱と「異教徒」
- ⑦ 西塔由貴子(同志社大学非常勤講師) (14:30-15:15)
ホメロスに見られる色彩世界の一局面——*Argos*を中心に——
- ⑧ 渡辺華月(龍谷大学非常勤講師) (15:20-15:55)
プロティノスにおける時間論の一断面——「丸く動く」に注目して
- ⑨ 田中咲子(新潟大学准教授) (16:00-16:55)
アリュバロス・タイプの盛衰
——アルカイック時代の墓碑における運動選手像の変遷

※編集委員会(17:00-19:00) 6号館会議室 6-107